

安全、安心で信頼できるAIの推進に関する日ASEANデジタル大臣共同声明

我々、東南アジア諸国連合（ASEAN）及び日本のデジタル担当大臣は、2026年1月15日にベトナム社会主義共和国ハノイで開催された第5回日ASEANデジタル大臣会合の機会に集い、

ASEAN連結性戦略計画（ACSP）、ASEANデジタル・マスタープラン2030、AIガバナンス・倫理に関するASEANガイド、AIガバナンス・倫理に関する拡大ASEANガイドー生成AIー、さらに「持続可能な開発のための安全、安心で信頼できるAIシステムに係る機会確保」に関する国連総会決議、日ASEANデジタルワークプラン2026、日ASEAN・AI共創イニシアティブを認識し、

人工知能（AI）が各国の人々の生活を改善する大きな潜在力を有していることを再確認し、

日ASEAN包括的戦略的パートナーシップの互恵的かつ建設的な性質を強調するとともに、デジタル・インフラ、連結性、そして人材育成を通じた持続可能で包摂的な成長に関する共通のビジョンを確認し、

インド太平洋に関するASEANアウトルック（AOIP）及び日ASEAN包括的戦略的パートナーシップの実施を支持し、ASEANの主導性及び自立性を尊重しつつ、経済協力、連結性及び自立性を重要な優先課題として考慮してきたことを強調する。

ここに我々は以下を宣言する。

（総論）

1. 日ASEAN包括的戦略的パートナーシップ及び日ASEAN・AI共創イニシアティブを強化する。また、AOIPに沿って、AIシステムのライフサイクル全体を通じた人間による実効的な監督、説明責任及び責任に根ざした、安全、安心で信頼できるAIシステムの開発・導入・使用を拡大し、国別のデジタル・AI戦略及びガバナンス・規制の枠組みに関する議論を支援し、能力構築を強化し、地域言語や文化等に配慮しつつデジタル・AIソリューションの責任ある包摂的かつ倫理的な活用の改善・拡大を進める。

（ガバナンス）

2. AIガバナンス・倫理に関するASEANガイド、AIガバナンス・倫理に関する拡大ASEANガイドー生成AIー、ASEANデジタル・マスタープラン2030、国連総会決議 A/RES/78/265（「持続可能な開発のための安全、安心で信頼できるAIシステムに係る機会確保」）、高度なAIシステムを開発する組織向けの広島プロセス国際行動規範、その他の、特に保健医療、教育、金融及び公共行政といった影響の大きい分野におけるAIガバナンスのリスクベース・アプローチに関する経験の蓄積や共有に関する協力を含む関連する枠組み等に基づき、責任あるイノベーション及び効果的なリスク軽減を促進しつつ、AIシステムの安全性・セキュリティ・信頼性を強化する。
3. リスクベース・アプローチを含むAIガバナンスに関する国際的議論を踏まえ、ASEAN各国における関連

法制・規制枠組みの整備に向けて協力する。また、AI事業者ガイドラインと高度なAIシステムを開発する組織向けの広島プロセス国際行動規範と、AIガバナンス・倫理に関するASEANガイド及びAIガバナンス・倫理に関する拡大ASEANガイド—生成AI—との対応関係を整備するとともに、ASEAN、日本及び関連する国際基準におけるAIガバナンス枠組みの相互運用性を強化し、これら枠組間の相互運用性の強化に向けた協力を実施する。AIガバナンスに関するASEAN作業部会（WG-AI）に加え、ASEAN AI Safety Networkを含むその他の取組とAIの安全性に関する連携及び協力も行う。

- ASEAN諸国の広島AIプロセス・フレンズグループやAIに関するグローバルパートナーシップ（GPAI）に対するあり得べき関与を模索し、リスクベースのAIガバナンス・モデルと、広島AIプロセスに関するベストプラクティスと知識の共有を含め、知識と経験の共有を促進する。

（AI開発・インフラ整備）

- ASEAN各国の文化、価値観、言語等を尊重した、安全、安心で信頼できるAIモデルの開発に向けて協力するとともに、AI開発を支える信頼できるAIモデルの開発に向けて協力するとともに、AI開発を支える信頼できるデータセンターやデジタルネットワークのインフラ整備に向けた協力を促進する。
- AIガバナンスと安全性試験に関するASEANプログラム、高度なAIシステムを開発する組織向けの広島プロセス国際行動規範及びAIガバナンス・倫理に関する拡大ASEANガイド—生成AI—とのマッピングを含め、AIガバナンスやAI性能評価、AI安全性ベンチマーク、評価手法などの分野におけるWG-AIとの現在進行中の連携を深化させる。
- 能力構築に重点を置くASEAN AI安全ネットワークパートナーシッププログラムなど、その他のイニシアティブに協力する。

（能力構築・人材育成）

- ASEAN Responsible AI Roadmapの実施、WG-AIを通じたエンゲージメント、ASEANにおける生成AIの責任ある開発と利用に関する議論、デジタル経済枠組み協定（DEFA）の推進など、能力構築や技術移転に関して協力する。
- 日ASEAN間の既存のサイバーセキュリティに関する能力構築の取組をAI分野にも拡張し、デジタル及びサイバー能力を強化・構築するために協力する。AIガバナンス等に関する能力構築、若手AI開発者の人材育成に関する協力等を通じて、各国における現地に根ざしたAIEコシステムの構築及び発展にも貢献する。

（AIソリューションの共創）

- 各国でのAI活用・ベストプラクティスに関する知見の共有を奨励するとともに、社会課題の解決に貢献し得るAIを活用したソリューションの共創を行う。

（包摂的で信頼できるAI）

- 人間中心の価値、プライバシー及びデータガバナンスを尊重する方法で、AIの責任ある利用を確保するよう協力する。

12. 知的財産権（例：著作権）を尊重しつつ、透明性を推進し、偽誤情報や情報操作への対応を含め、AI技術の責任ある利用を促進するとともに、AIシステムのライフサイクル全体にわたり、人間中心の原則を尊重し、差別や偏見、誤使用、その他の有害な影響から個人を保護する重要性を強調し、必要となる協力を行う。
13. 民間部門の取組を強調し、AIの恩恵がすべてのASEAN諸国・人口層に公平に広がるよう奨励する。

（デジタル連帯と経済発展）

14. デジタル連帯と信頼性のある自由なデータ流通（DFFT）の原則の重要性を再確認し、データの自由な流通が信頼に基づき、安全かつ各国の法令に従って行われるべきであることを強調する。あわせて、責任ある、信頼されたデジタル技術の活用を通じて共有する繁栄を拡大し、共通の課題に対応するために、越境データ流通の促進と、データ保護、サイバーセキュリティ及び知的財産権の保護とのバランスの取れた調和的なアプローチを促進するとともに、データガバナンス分野における協力を推進する。
15. AIシステムと経済成長を支える基盤として、サイバーセキュリティ、データセキュリティ、データ保護及びサイバー・レジリエンスの重要性を認識する。
16. イノベーションを促進するとともに、関連するリスクを最小限に抑え、持続可能な経済成長を実現し、経済・社会・開発課題に効果的に対処するためのAIの潜在力を引き出すため、ASEANと日本との共創を通じて、安全、安心で信頼できるAIエコシステムを構築・維持する。

2026年1月15日、ベトナム社会主義共和国ハノイで採択された。